

2011年 秋

KSKQ 萌^もえ 風^{ふう}香^か



社会福祉法人萌 広報紙 No.34 2011.10.7 定価 1部150円
編集人 社会福祉法人萌 〒639-1001 奈良県大和郡山市九条町1334
ふれあい工房内 TEL0743-54-6701 FAX0743-54-6731

一九九一年九月三日

第三種郵便物認可

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

発行人

関西障害者定期刊行物協会・大阪市天王寺区真田山町二二 東興ビル4F

法人設立10年 に寄せて



社会福祉法人萌 理事長
仲田 昭七

私たちの法人もやっと10歳になりましたが、この10年は測らずも、次々と施設の拡大・拡張にせまられて、その都度様々な課題に直面し、特に職員の配置については、極端な件では、2年以内で移動せざるを得なかったことなど、大変重い課題もありましたが、皆様方にはこの間、この大組織の運営に、温かいご理解・ご協力を頂き、大変有難く、心から御礼申し上げます。

こうして、この間の課題をなんとか乗り越え、10年を祝うことができることを、皆様とともに喜びたいと思います。

時代の要請でもあり、昨今、精神障害分野の社会福祉を目指す事業が各地で始められていることは、大変喜ばしいことです。

私たちもこの間、みんなで話し合っただけで私たち法人の運営理念を制定し確認してきました。「誰もが生き生きと自分らしく暮らせる心豊かな社会の創造」を目指す私達の理念と、それを実行するための職員倫理綱領は、思えばとても崇高な理念であり、大時代的に言えば、“憲法・国連憲章の掲げる社会進歩を目指す”人類の悲願に通じるものであります。

私たちはそのことに胸を張って(実質的保障はまだまだ弱いですが) これからの活動を展開してゆきたいと念じています。

ますます人々が頼りにし、集まってくる施設になるよう、この法人の関わる全ての人々が、どこでも、誰にでも、疑問や意見をあげて頂きますよう、よろしく願いいたします。

法人の歴史

- ・平成13年8月 社会福祉法人萌設立
- ・平成14年4月 生活支援センターふらっとを建設し事業スタート
- ・「ひだまり」「はなな」「ふれあい工房」が無認可作業所から小規模受産施設に移行して活動すると同時に「精神障害者ホームヘルプ事業」を開始
- ・平成15年4月 グループホーム事業を開始

<これから以後、生駒市、大和郡山、西和7町、橿原市を中心に、どのエリアでも相談支援・日中活動支援・就労支援・ホームヘルプ・グループホームの5分野で支援が提供できるよう事業所を新設>

- ・平成19年4月 社会福祉法人すてっぴと合併し、大和高田市での活動も加えて、新しい「萌」としてスタート
- ・現在、奈良県下で相談支援事業所6か所、地域活動支援センター5か所、就労支援事業所11か所、グループホーム5か所、自立支援住居、ホームヘルプ事業所、就業・生活支援センターを運営しています。

法人の名前の由来

公募した56候補の中から、地域にしっかりと根をはり、障害のあるなしに関わらず、誰しもうれやみやすい街作りを目指すために、選びました。

「萌」は、「きざす、もゆる、もゆ、めばえ」といった読み方があり、意味としては「草が芽を出す、物事が起こることを予想させるしるし、まえばえ、物事の起こり始め」といった多くの意味があり、奈良県の精神保健福祉が勢いよく発展していくことを願って、名づけました。

生駒
IJA

パン工場で実習!

ひだまり

かねてから声があがっていた「実際にパンを触ってみたい」というメンバーの希望から、大阪のシキシマパン豊中工場へ実習に出かけてきました。8月26日(金)、9月14日(水)の2日に分けて、メンバー・スタッフ合わせて26人が体験してきました。当日は朝8時半に出発して、16時に解散というハードスケジュール!!説明を聞きながら、一人ひとりパン作りに挑戦です。生地を初めて触る



人も多中、メロンパンやソーセージの入ったパンなど何種類も作ることが出来ました。できあがりを食べると「おいしい!!」の言葉と笑顔がこぼれます。たくさん作ったパンはお土産に持ち帰りました。

ひだまりでは、引き続き、パン屋開店に向けて準備を進めていきます♪



コミュニティスペースはなな

「福祉と健康のつどい」出店!!

9月11日(日)、生駒市中央公民館で「福祉と健康のつどい」というイベントがありました。そこで、はななのケーキやラムネを販売しました。はじめは「どんなお客さんが来るのだろう」と少し緊張していましたが、お客さんと接したり、販売員同士お話をしたりしているうちに少しずつうちとけてきました。



お客さんと接客をしながらお菓子などを売り、ケーキが完売したときにはすごく嬉しかったです。少しでもはななの商品を多くの人

に知ってもらえたら嬉しいな、と思いました。(文:MH)



ピアサポートって何?

コスモールいこま

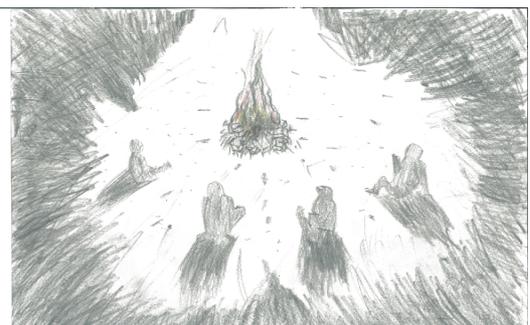
コスモールいこまの週一回のミーティングでは「身近に感じたピアサポート(仲間同士の支え合い)」について、話合っています。月に1回、ふらっと、まーぶる、コスモールいこま合同で取り組んでいる「ピアサポート企画委員会」に出ているメンバーの「ピアサポートって何? よくわからへん」との疑問から、始まった取り組みです。

メンバーからは「初めてコスモールの見学に来て帰るとき、駅までの道がわからず困っていたら、すすんで道案内してくれるメンバーがいた」「絵を描いてプレゼントしてくれたり、お菓子をつくってくれる人がある」「人目を気にせず、病気の話ができ、聞いてくれる人がある」などの話が出ます。その中で自然と「ピアサポート」という言葉が浸透してきました。しかし一方で「ピアサポートといっても、しんどい話をずっときくのはしんどい」「一方通行の関係で、負担と感ずるときもある。ピアサポートといえるのか」「仲間を支えることが、いつも自分の喜びになるとは限らない」等の意見も出ます。

本当の「ピアサポート」って何?…それを知る手がかりとして、10月末に、大阪府堺市にある「NPO法人ソーシャルハウスさかい」の見学に行くことになりました。「当事者ピア電話相談」や「当事者講師派遣事業(出前はあと)」など、当事者主体の活動のなかに、ピアサポートがどのように機能しているのか…、行って、見て、感じてきたいと思います。

コスモールいこま(生活支援センター) Tel: 0743-73-7000
コスモールいこま(地域活動支援センター) Tel: 0743-73-0900
ひだまり Tel: 0743-76-1496
コミュニティスペース はなな Tel: 0743-73-1050

利用者投稿コーナーへのたくさんの応募
ありがとうございました♪



郡山
エリア

「ありがとう」って 伝えたくて…

～ 萌10周年 郡山エリア記念パーティー ～

いきものがかりの歌ではありませんが、この10年、当事者、ご家族、ボランティア、地域住民、行政、関係機関・団体など、様々な方のご支援、ご協力があり、ここまで来ることができました。本当に感謝の思いでいっぱいです。

そんな思いを伝えたいと、萌10周年郡山エリア記念パーティーを8月31日(水)、やまと郡山城ホールレセプションホールで行いました。

当日は約80名の皆さんにご出席頂きました。彩食キッチンBonのお菓子を囲みながら、事業所紹介や利用者からのメッセージを伝えました。日頃、自分たちの思いを伝える場はなかなかありません。発表では事業所や人の味が出て、笑いも交えながらのものとなり、会場は和んだ雰囲気となりました。

最後には10周年を記念して作られた萌の歌「夢の未来へ」をみんなで歌いました。歌は今回が初披露です。会場が一体となり、今までのありがとうとともに、今後の活動にも希望のもてる良い締めとなりました。



参加したメンバーの感想は、「体験発表がきけてよかった」「Bonがおもしろくてよかった」「司会がよかった」

「ふれあい工房にお世話になりもう10年たったのか、とこのパーティーに参加できるともううれしかった」「地活ふらっとのカメラの出しもの、よかった」・・・など。

本来なら、お世話になっている全ての人をお招きして、感謝の気持ちを伝えたくったのですが、会場の都合で、代表の方のみのご招待となりました。お世話になってきた全ての方に、この場をかりて、厚くお礼申し上げます。

ありがとうの思い、これからも大切にしていきながら、日々の活動に邁進していきます。

本格インドカレーを 作りました

ふらっと地活

残暑の中、9月1日にふらっとで本格インドカレーを作りました。

ボランティアグループつぼみの大西陽子さんに料理の指導に来てもらい、買い出し及び調理をしました。参加者は17名でした。チキンカレー、ナン、その他にひよこ豆のカレーやなすとピーマンのサブジ、ラッシーも出て栄養満点です。辛さ続きの後のラッシーは甘くてとても美味しかったです。そして、大西先生お手製のかぼちゃのデザートも美味しかったです。食事中は今日の感想を話したり等、みんなで楽しみました。大西さん、準備等本当にありがとうございました！本格インドカレー、とっても美味しかったです!!!



＜お知らせ＞

郡山エリアでは、スタッフ間でしっかりと地域のニーズを把握することに前年度より取り組んできました。その中で『家族亡き後の不安』を感じておられる利用者の方が多いらっしゃることを再確認しました。

日常の各事業所での相談でも、ご本人さんからは「家族がいるから今のところなんとか生活出来ているけど・・・」や、ご家族からは「私たちがいなくなった後、あの子は大丈夫なんでしょうか・・・」といった不安の声をよく耳にします。そこで、当事者やそのご家族の将来への不安が少しでも軽減するよう、『家族亡き後』について今から出来ることを考えておられる方や、将来に向けて取り組んでいる方の体験談、使える制度などの情報提供を次号より連載していきます！

ふらっと(生活支援センター) Tel: 0743-54-8112
ふらっと(地域活動支援センター) Tel: 0743-54-3977
ふれあい工房 Tel: 0743-54-6701
彩食キッチンBon Tel: 0743-58-5572

♪♪さくらんぼ通信♪♪

この夏はとても暑かったですね。皆さんこの暑さ乗り切れましたでしょうか？節電でスーパーや公共機関も冷房の設定温度が高かったように思います。さくらんぼではこの夏熱中症に気をつけながらの支援でした。利用者さんの体調を心配して何度も訪問したケースもありました。逆に「あんたらこそ気をつけやあ」と反対に気遣っていただき、人と人とのつながりっていいもんだなと感じた支援でもありました。暑さも一段落し、朝晩と過ごしやすく最近では秋の気配さえ感じられるようになりました。暑さで痛んだ身体を十分に休めて下さい。そして、食欲の秋！おいしいものをたくさん食べましょうね。

西和
エリア

らそらに

らそら

電動自転車が、

やってきました(^_^)

8月10日(水)について念願の電動自転車が、やってきました♪始まりは、近隣の配達に電動自転車があらういな。という気持ちからでした。

らそらがある斑鳩町は、三郷町や王寺町とも隣接しており、近隣の町からの個人宅からの依頼もあります。電動自転車が来た事で細い道もスイスイと走れるようになりそうです。

また同じ日に、彩食キッチンBONからも一台、電動自転車を借りる事が出来ました。周囲の人達の、ご協力があったこそ、らそらに二台の電動自転車が届いた事が何より嬉しいです。今後、二台の電動自転車が活躍してくれる事を期待しています。



ななつぼし (生活支援センター) Tel : 0745-72-2390
 まーぶる (地域活動支援センター) Tel : 0745-75-6545
 らそら Tel : 0745-70-1577
 ライク (就業・生活支援センター) Tel : 0745-51-2001

もくもく
パーティー

まーぶる

6/24にレクでカラオケに行きました。6人の参加者がいました。私はYさんとアニメの曲で盛り上がりました。私は青のエクソシストの曲を歌いましたが、まだ歌い慣れておらず、S君に助けられました。

他の人も好きなうたをうたい、盛り上がりました。タバコを吸う人が多くて、モクモクとけむりで真っ白に部屋になりました。のちにその日のできごとはもくもくパーティと名付けられました。

7月のレクは7/22にいきいきの里と喫茶に行きました。4人で行きました。お風呂は手帳で100円で入りました。(町内はタダです)

浴槽は3つありました。泡風呂とジェットバスと水風呂がありました。シャンプー・リンスも付いていて良かったです。とても気持ち良かったです。

お風呂上がりは、らそらの喫茶店で休みました。私は、クリームソーダを頼みました。飲みごたえがあってとってもおいしかったです。みなさんそれぞれコーヒーや紅茶を頼んでおられました。とってもリフレッシュできて良かったです。



「一人で抱えないで～精神障害者の家族への講演・相談会～」

日時：平成23年12月19日(月) 14:00～17:00

場所：上牧町2000年會館

対象：西和7町在住の精神障害当事者・家族・民生委員

内容(予定)：14:00～家族・当事者の体験談
 15:00～講演「当事者への対応について」
 16:15～個別相談会

主催：西和7町(安堵町・斑鳩町・王寺町・河合町・上牧町・三郷町・平群町)

お問い合わせ先：生活支援センターななつぼし 0745-72-2390

事前申込みは不要です、
お気軽にご参加ください。

高田
IJA

次は何個売れる!?

えいぶる

無事に夏季物販が終わり、えいぶるの授産品である「大和まなの塩漬け」を合計 142 個販売することができました。これも各所の皆さん、そして何よりも購入していただいた方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました!! えいぶるメンバーも大喜びで、今後のお漬物作りにより一層のやりがいを感じてもらえると思います。

来る 10月 15日の萌フェスタでも販売しますので、どうぞお立ち寄りの際は、ぜひぜひ買って行って下さいね (*^_^*)

BBQinおかわり

おかわり

「おかわりでもBBQしようやー」とメンバーの声から企画することになり、メゾン高田と合同で8月24日に開催しました。2名のメンバーが幹事になり、出欠確認や買出し、会計等の役割を担ってもらいました。そのおかげでなんと参加人数は総勢23名!! らそらとふらっとからバーベキューコンロを借り、4台に分かれて始めました。火を熾すのが初めての人やこどもの時以来という人もいましたが、必死にうちわで扇ぎなんとか火を熾すことができました (>ロ<;) 途中大雨が降るというハプニングもありましたが、食後のデザートもありお腹いっぱいのお賑やかなBBQになりました♪



の上、100円と安い!! 外レストランでは、夏休みで虫とりをしていた親子連れでしょうか。お父さん、お母さん、男の子ふたりが網を横において食べてくれていました。

メンバーも注文をもらうたびに、なぜか笑顔になります。夏が終わるのが、少しさびしい気がします。

萌の歌 ついに完成!!

マインドホーム高田

萌の歌歌詞で最優秀賞に、我がマインドの機谷吏さんの「夢の未来へ」が選ばれました。この歌詞に曲がついたらどんな歌になるんだろう…と待ち望み、ついに萌の歌が完成しました!!

聞いてみると、
つつい横にゆ
れながら口ず
さんでしまう感じ
♪一度聞くと、
また聴きたくな
る曲♪とマイ
ンドでも大好評。
歌詞がスツと頭



に入り、前向きになれる。萌のイメージソングにぴったりです。
機谷さんは「自分が作詞した曲とは思えないくらいすごい。」
「これをみんなが聞いてくれると思うと嬉しい。」などと話してくださいました。マインドではランチタイムの定番ソングになりそうです♪

☆宇陀市の当事者会

なっつ

「ながま会」との交流☆

ながま会のメンバーさん 2 名がなっつのしゃべり場に参加されました。「言いつばなし、聴きつばなし」を、どんな方法で行っているのか見学させてもらえませんか?との電話が交流参加のきっかけでした。しゃべり場の後はティータイムを兼ねて、お互いの情報交換を実施。「しゃべり場は、しゃべっても聴いても素直になれますなあ」「話を聴いて自分も同じやと思えますわ」などの感想が述べられていました。当事者同士の交流は、お互いに刺激や気づきをもたらしてくれたようです。自分を素直に出せる場の大切さと、このような交流を通じての仲間の輪の広がりを感じた一日になりました。

かき氷はじめました〜

咲咲

レストラン咲咲では、7月からかき氷をはじめました。初めてということもあり、どれだけ注文があるのか不安もありましたが、酷暑が続き、大好評でした。温泉であたたまった体に冷たい氷は最高の気分になるのでしょうか。そ

なっつ (生活支援センター)	Tel : 0745-23-7214
なっつ (地域活動支援センター)	Tel : 0745-23-8105
マインドホーム高田	Tel : 0745-23-8072
おかわり	Tel : 0745-23-5625
咲咲	Tel : 0745-53-2233
えいぶる	Tel : 0745-52-5752

檀原
IJA

初キャンプ☆

ひなた舎

楽しかった♪

念願の一泊レク「キャンプ」に行ってきました。天気予報は雨。台風も近づいています。2週間前にも台風で延期したキャンプ。「どうなるんだろう!？」期待と不安のスタートです。

天候は何とか味方してくれ、まずはバーベキューでお腹いっぱいです。お風呂でさっぱり汗を流したあとは、持ち寄りお菓子でワイワイ夜遅くまで盛り上がりました。

「家族以外の人と泊まるの初めて」「パジャマ新しく買ったんですよ」「緊張するわ」「寝られへんかった」「思ったより楽しかった」参加した人の感想は様々。夏の終わりのキャンプは思い出いっぱいです。



七月レクと

Pit 八木

新たな挑戦

7月15日の夏本番の元気な太陽の下、ピットの皆は、同じ奈良の地でピットと同じく毎日を頑張っている同志の「レストラン咲々」のメンバーさん達の姿を見に行きました。

近鉄高田駅から直ぐに「希望号」というバスに乗ることが出来てまずはひと安心、目的地に着くとまずはピットの皆が楽しみにしていた咲々での食事を楽しみました。定食はボリュームが有り、皆満足気でおなかいっぱいになりました。その後マインドの皆が毎日どんな活動をしているのか説明してもらい、内職、清掃、新聞配達（ご老人の安否確認も有ると聞いて感心しました）、洗濯物たたみ作業等、ピットよりも活動の選択肢が多いことに驚きました。実はピットのメンバーで以前にマインドに居たAさんが久しぶりの再会ということもあり、終始和やかに楽しく交流できました。マインドの皆さん、ありがとう！

実はピットも日ごろの活動をドキュメンタリーとして映像化することで自分達の様子を客観的に捉え、新たな一歩を踏み出そうとしています。ピットも他の事業所には負けてられないぞ～！

イオン 幸せの黄色い
レシートキャンペーンを
ご存知でしょうか？

ぴあぽ～と

幸せの黄色いレシートキャンペーンとは、＜毎月11日にイオンでは黄色のレシートが発行され、そのレシートの合計金額の1%にあたる分を、その団体の希望する商品やギフト券に変えてイオンが寄贈する＞というキャンペーンなんです♪ぴあぽ～とも毎年参加させて頂いていて、キャンペーン中はレジ前に立ってレシートを集める事ができます。今回ぴあぽ～からは8月11日に午前チームと午後チームに分かれて檀原アルルへ行ってきました(^)/

初めはドキドキしていたのですが、同じ日に他の団体の方も来られていて、一緒に横に並んで『イエローレシートキャンペーンにご協力ください』と声を出して呼びかけた結果、多くの方々からイエローレシートを頂くことができました。募金箱だと思って小銭を入れようとしてくれる子供さんや『レシートをいれるだけでいいの?』と声を掛けてくれる人もいて、直接会話をすることで地域の方と少し繋がりを持つことが出来たように感じます。

こういった地域での活動に参加することで、ぴあぽ～との存在や、同じ地域に障害を持った人が利用できる施設があるんだということを知ってもらいたいです(^_)

ぴあぽ～と（生活支援センター）	Tel ; 0744-27-4152
ぴあぽ～と（地域活動支援センター）	Tel ; 0744-27-4175
Pit 八木	Tel ; 0744-21-5666
いろは（生活支援センター）	Tel ; 0744-32-7753
ひなた舎	Tel ; 0744-32-7745

☆グループホーム通信☆

檀原にグループホーム誕生

檀原に新しくグループホームができます。名前は檀の木ハウス!! 県営檀原団地を使ったマンションタイプの3LDKで、2戸に各3名が利用でき最大6名が入居できます。内装工事が終わってからの10月下旬には、順番に入居が開始される予定です。



エリアごとに、萌各事業所の名前の由来を紹介します！！ …事業所名・開所年・由来の順に掲載

生駒エリア

「**ひだまり**」1994年。ひだまり家族会に、利用者、家族、ボランティア、職員がそれぞれ協力して運営、活動する共同作業所の理念を加え、「ひだまり共同作業所」と名づけました。平成16年に改称、共同作業所の理念は法人へと受け継がれました。

「**コミュニティスペースはなな**」2000年。利用者が名付け親。「むらさきはなな」という花名からとったもの、なかなか咲かない花と自分たちの姿を重ね、社会復帰がなかなかできないけれど、いったん社会に復帰すれば、「人に何かを与えられる人間になりたい」という思いのもと名づけました。

「**コスモールにま**」2003年。公募した約50候補の中から、「コスモ(宇宙、偏見のない、調和を持つ世界)」と「モール(遊歩道式の商店街)」を合わせた造語。差別偏見のない調和のとれた、誰にとっても安心して暮らせる街作りをひろい視野で、様々な連携を図りながら活動していくことを願い名づけました。

郡山エリア

「**ふれあい工房**」1998年。利用者が名付け親。人と地域とのふれあいを創り出せる場所になりますようにとの思いから名づけました。

「**ふらっと**」2002年。障害のあるなし、老若男女関係なく、誰もが「ふらっと」立ち寄れる、誰もが「フラット(平ら)」な関係で共に歩いていけるようにとの思いで名づけました。

「**彩食キッチンBon**」2003年。フランス語の「Bon(美味しい)」に、彩り豊かな食生活を提供していきたいという造語「彩食」を合わせ、「彩り豊かな食事を提供したい」との思いから名づけました。

高田エリア

「**マインドホーム高田**」1994年。地域で暮らすことを支えていく、みんなの「こころのおうち」「よりどころ」になることを求めて、名づけました。

「**おかわり**」1995年。お客様に喜んでいただける、おもしろく「おかわり」したくなるようなおいしいお弁当を届けたい、という気持ちで名づけました。

「**えいぶる**」1995年。利用者が名付け親。BE ABLE TO ~ (~できる) えいぶるです。店舗型という新しい施設の形に挑戦するところだったので「可能性」を最大限に引き出す場所という願いで名づけました。

「**なっつ**」2002年。利用者が名付け親。期待する地域生活支援センターのイメージを英語にしてその頭文字から名づけました。N(「ナチュラル(自分も相手も、そのまま受け止め受け入れられる場所)」・A(「アトラクティブ(魅力ある)」・T(「テンダー(お互い自分にも相手にもやさしさとおもいやり)」・S(「スピリテッド(元気な活力のある)」。

「**咲咲**」2009年。利用者が名付け親。さくら咲く、さくさく人が入る。” ささ、どうぞ”” 笑顔咲く” などの意味が入っています。

西和エリア

「**らそら**」2004年。「らそ」はスペイン語で「絆」と「空」を合わせた造語。大空のもとで、誰もが分け隔てなく絆を結んで行こうとの願いで名づけました。

「**ななつぼし**」2006年。利用者の提案、7つの星を西和7町に例え、個性、独自性を持ち、なおかつ合わせた光が西和7町の中でキラキラと輝く事業所になっていこうとの願いを込めて名づけました。

「**まーぶる**」2007年。大理石、美、永遠などの象徴という意味をもつ英語のmarbleで、「ゆるぎない固い絆」という意味を込めて名づけました。

「**ライク**」2008年。こんな風にlike~(生活したい、という願いを実現しようという思いを込めて名づけました。

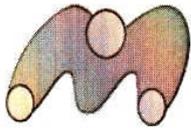
檜原エリア

「**ぴあぽ〜と**」2006年。同じ立場の仲間:PEER(ピア)と、みんなが気軽に立ち寄れるイメージで、港:PORT(ポート)の造語です。当事者の力を引き出す支援、当事者活動の支援をしていきたいという思いがあり名づけました。そして、やさしい感じを表すために、ひらがなにしました。

「**ひなた舎**」2008年。公募した中から、あたたかく差し込む光に「ひなたぼっこ」をしたくなるようなゆったりした場所。多くの人々が憩う「みんなの家」になるようにとの思いを込めて名づけました。

「**Pit 八木**」2010年。レース場でのPit inのように、「仲間を支えられながら自信をつけ、次に進めるような場所を目指す」ことを目標に名づけました。

「**いろは**」2011年。公募した中から、磯城郡の“しぎ”を“色”にかけて、「いろはにほへと」から“はじまり”をイメージしています。一人ひとりの思いに寄り添う“基本”方針を大切にしたいという思いも込めて名づけました。



Moe～萌～
Mentalhealth～心の健康～
Messageboard～伝言板～

「萌 後援会」からのご案内

後援会は「社会福祉法人 萌」を支援して戴ける皆様を募集しております。後援会の主な目的は、法人 萌に対する事業の支援や寄付を行っています。

詳しくは「社会福祉法人 萌」のホームページをご覧ください。

<http://www.moe.or.jp/>

後援会事務局(地活ふらっと内)
0743-54-0821(相川)

ボランティアグループすずめ

ボランティアグループすずめでは、メンバーさんと一緒に、お茶会や遠足をしています。生駒地域で一緒に活動して下さる方を募集しています。

ホームヘルプステーション・グループホームの

名前の由来を紹介します！！

<ホームヘルプステーション>

「さくらんぼ」2002年。名前の響きがかわいく、桜の花の後に暖かい日差しを受けて、たわわな実を結ぶことにちなみ、名づけました。

<グループホーム>

「もえぎ館」2003年。萌に関係する日本古来の色「萌葱色(もえぎいろ)」からとった名前。趣のあるたたずまいから「館」というイメージを合せ、「もえぎ館」と名づけました。

「楽都」2004年。公募の中から入居者が決定。どんなところでも「住めば都」との考えのもと、楽しく暮らせればいものになあゝの気持ちが詰まっています。

「マン高田」2008年。法人内から公募した中で、外で住所を書く際にも住人が書きやすく、一番身近で親しみやすい名前ということで名づけました。

「みらい館」2009年。入居者が「明るい未来を夢見て暮らす場所にしたい」という願いを込めて名づけました。

生駒市精神障害者施設後援会

(通称:ひだまり後援会)

生駒市内にある精神障害者施設への財政的支援と啓発活動をしています。年会費一口2000円から。新規会員募集中。

「トーク&ライブひだまり2011」
12月10日(土)13:30～ 生駒市コミュニティセンター(セイセイビル)にて開催！！吉岡紘子さんによる「和の世界」(琴・尺八・コーラス・朗読)をお楽しみ下さい♪

お問合せ:地域活動支援センターコスモールいこま 0743(73)0900(桑原)

ハートフルこおりやま

(精神障害者の社会参加をすすめる会)

次回は一とふる市の日程が決まりました。11月12日(土)10:00から開催予定です。店にサロンコンサート、たくさんイベントがめじろ押しです。

ふるってご参加ください！！

お問合せ:地域活動支援センターふらっと 0743(54)3977(四ヶ所)

ボランティアグループつぼみ

一緒に活動する仲間大募集！！
つぼみヨガは、10月19日、11月16日、第3水曜日、午後1時30分～郡山市社会福祉会館3階で、お待ちしております。

すみれ会(葛城地域家族会)

*基本的に第3日曜日に行っています。
場所:大和高田市中央公民館

のぞみ会(地域家族会)

*基本的に第2日曜日に行っています。
場所:県心身障害者福祉センター
お問合せ:0744-27-4152
(ぴあぼ〜と)

ひだまり会(生駒地域家族会)

*基本的に第3土曜日に行っています。
場所:生駒市市民活動推進センターららポート
時間:13:30～
連絡先:0743-73-0900
(コスモールいこま)

西和家族会(地域家族会)

*基本的に第4土曜日に行っています。
時間:13:30～
場所:王寺町中央公民館

さくら会(大和郡山地域家族会)

*基本的に第3日曜日に行っています。
場所:三の丸会館円卓ルーム
時間:13:30～

～編集後記～

今年は東日本大震災のみならず、台風による被害も甚大で、奈良県にも大変な被害が出ました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、一人でも多くの方の生存と、一日も早い復興を願う毎日です。

様々な出来事が起こる中でも、たくさんの方に支えられ、各事業所の活動や様々な情報を伝えられることの有難さを、感じています。

萌風香編集部一同